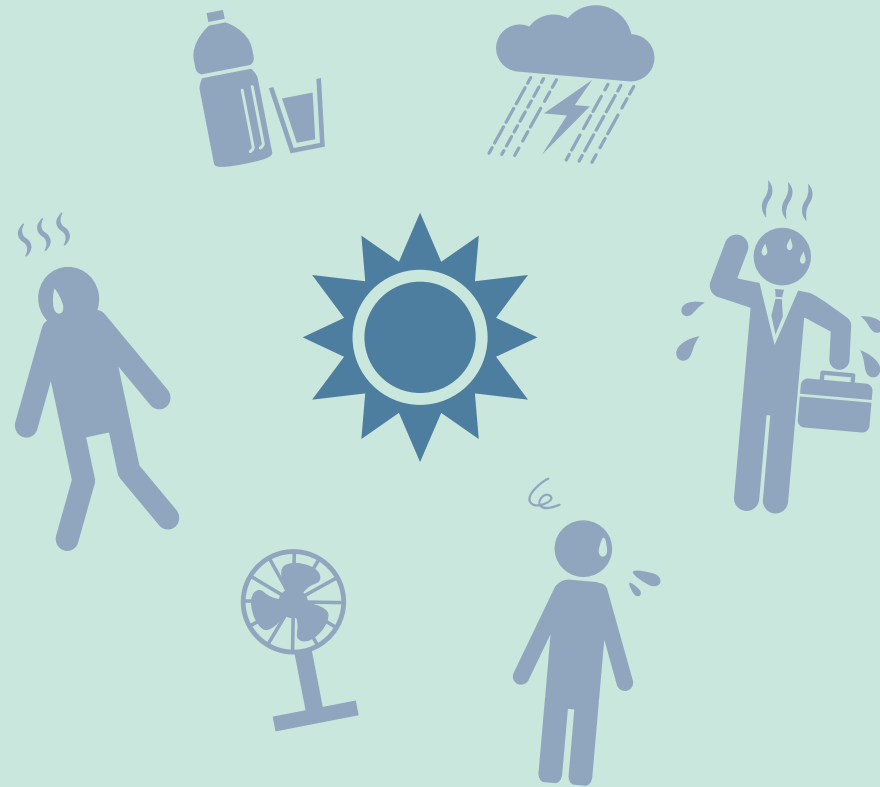




東京学芸大学 環境報告書

2025

ENVIRONMENTAL REPORT



国立大学法人
東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

〒184-8501
東京都小金井市貫井北町 4-1-1
Tel.042-329-7111
www.u-gakugei.ac.jp

東京学芸大学 環境報告書 2025

目次

環境憲章	01
Top Message	02
大学概要	03
機構図	04-05
小金井キャンパスマップ	06
地球温暖化の対策の推進に関する基本方針	07
基本マネジメント組織体制	07
環境負荷軽減の取り組み	08-09
環境パフォーマンス	10-12
環境配慮促進法準拠状況	13

編集方針

本報告書は、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」にもとづき、本学が取り組んでいる環境整備・保全に関する方針・活動を皆様にご理解いただくと共に、「学芸の森」及び自然を共に守り・育て・継承していくための資料として多くの方々に活用していただくことを目指しています。

■ 参考としたガイドライン
環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」

■ 報告書の対象範囲
小金井キャンパス、ならびにその他地区（各附属学校）

■ 報告書の対象期間・発行
対象期間 令和6年4月（2024年4月）
～令和7年3月（2025年3月）
発行 令和7年10月（次回：令和8年9月発行予定）

■ 環境報告書は東京学芸大学のホームページで公表しています。
<https://www.u-gakugei.ac.jp/jouhou/01/>

環境憲章

基本理念

「教育への情熱・知の創造」をモットーに「有為の教育者」の育成を目指す東京学芸大学は、地球環境問題が焦眉の課題となっていることを深く認識し、継続的な人類の発展に寄与するために、地球環境の保全と充実に向けた教育活動を積極的に展開する。

また、緑豊かな自然を保持する本学は、建学以来育んできた「学芸の森」をかけがえのない教育研究環境として守り発展させ、周辺地域の自然環境との調和に努めつつ、多彩な環境パートナーシップを構築する。

基本方針

1 本学のあらゆる活動から生ずる環境負荷を認識し、環境汚染の防止、エネルギー使用量・廃棄物排出量の削減、資源リサイクル量の向上をはかり、園児・児童・生徒・学生・教職員などの心身の健康を図ると共に、環境への自覚を高める。

2 地球環境や地域環境を保全・改善するための研究活動及び環境教育・環境学習活動を推進し、公開講座等を通じて環境問題の啓発、普及に務め、循環型社会の担い手となる優れた人材の育成に努める。

3 大学及び附属学校・園の自然環境の保全・充実に努め、「キャンパス」の学術的・教育的価値を更に高めると共に、地域社会と連携し、園児・児童・生徒・学生・教職員・地域住民等の多様で主体的な環境活動を推進する。

4 環境に関する法規、条例、協定及び学内規定を遵守する。

東京学芸大学の概要(令和6年5.1現在)

※附属学校在学者数()内の数字は海外帰国児童・生徒

小金井団地		敷地面積 306,894㎡ 延べ床面積 111,370㎡	
小金井キャンパス			
東京学芸大学			
・教育学部	在学者数	4,399名	
・大学院	在学者数	798名	
・特別専攻科	在学者数	11名	
事務局		放射性同位元素総合実験施設	
附属図書館		有害廃棄物処理施設	
環境教育研究センター		理科教員高度支援センター	
先端教育人材育成推進機構		学生支援センター	
国際交流／留学生センター		特別支援教育・教育臨床サポートセンター	
保健管理センター		教育インキュベーションセンター	
ICT／情報基盤センター		こどもの学び困難支援センター	
		国際交流会館	
		附属学校運営部	

小金井地区			
・附属幼稚園小金井園舎	在学者数	142名	
・附属小金井小学校	在学者数	608 (4) 名	
・附属小金井中学校	在学者数	418名	

世田谷地区				
・附属世田谷小学校	敷地面積	28,416㎡	延べ床面積	7,320㎡
	在学者数	615名		
・附属世田谷中学校	敷地面積	20,335㎡	延べ床面積	6,001㎡
	在学者数	416名		
・附属高等学校	敷地面積	53,207㎡	延べ床面積	12,141㎡
	在学者数	963 (17) 名		

大泉地区		敷地面積 61,827㎡ 延べ床面積 19,236㎡	
・附属大泉小学校	在学者数	566 (21) 名	
・附属国際中等教育学校	在学者数	719 (55) 名	
大泉寮			

竹早地区		敷地面積 18,723㎡ 延べ床面積 13,506㎡	
・附属幼稚園竹早園舎	在学者数	58名	
・附属竹早小学校	在学者数	410名	
・附属竹早中学校	在学者数	409名	

東久留米地区		敷地面積 23,636㎡ 延べ床面積 4,631㎡	
・附属特別支援学校	在学者数	67名	

学生寮				
大泉寮	敷地面積	大泉地区に含む	延べ床面積	2,415㎡
小平寮	敷地面積	4,244㎡	延べ床面積	2,995㎡
東久留米国際学生宿舎	敷地面積	14,543㎡	延べ床面積	2,555㎡

TOP MESSAGE



「命に係わる危険な暑さ」、「熱中症警戒アラート」という言葉は、今年の夏、日常的な用語としてすっかり馴染んでしまいました。最高気温が40度に達することも珍しいことではなくなり、早魃に苦しむところも出ている一方で、「線状降水帯」による水害も頻発しています。大規模な山火事も、こうした異常気象の影響と言われています。このような気候は、もはや我が国、そして、世界の日常となりつつあり、地球環境に何か重大なことが起こっていることは明らかです。これは、残念ながら、われわれ人間が行ってきた営みの結果と言わざるを得ず、われわれの営みを見直す必要性は、急を要しています。

国は、今年（令和7年）の2月18日、地球温暖化対策計画を閣議決定しました。この計画では、2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ60％、73％削減することを目指すと言われています。遅ればせながらとは思いますが、野心的とも評価されています。

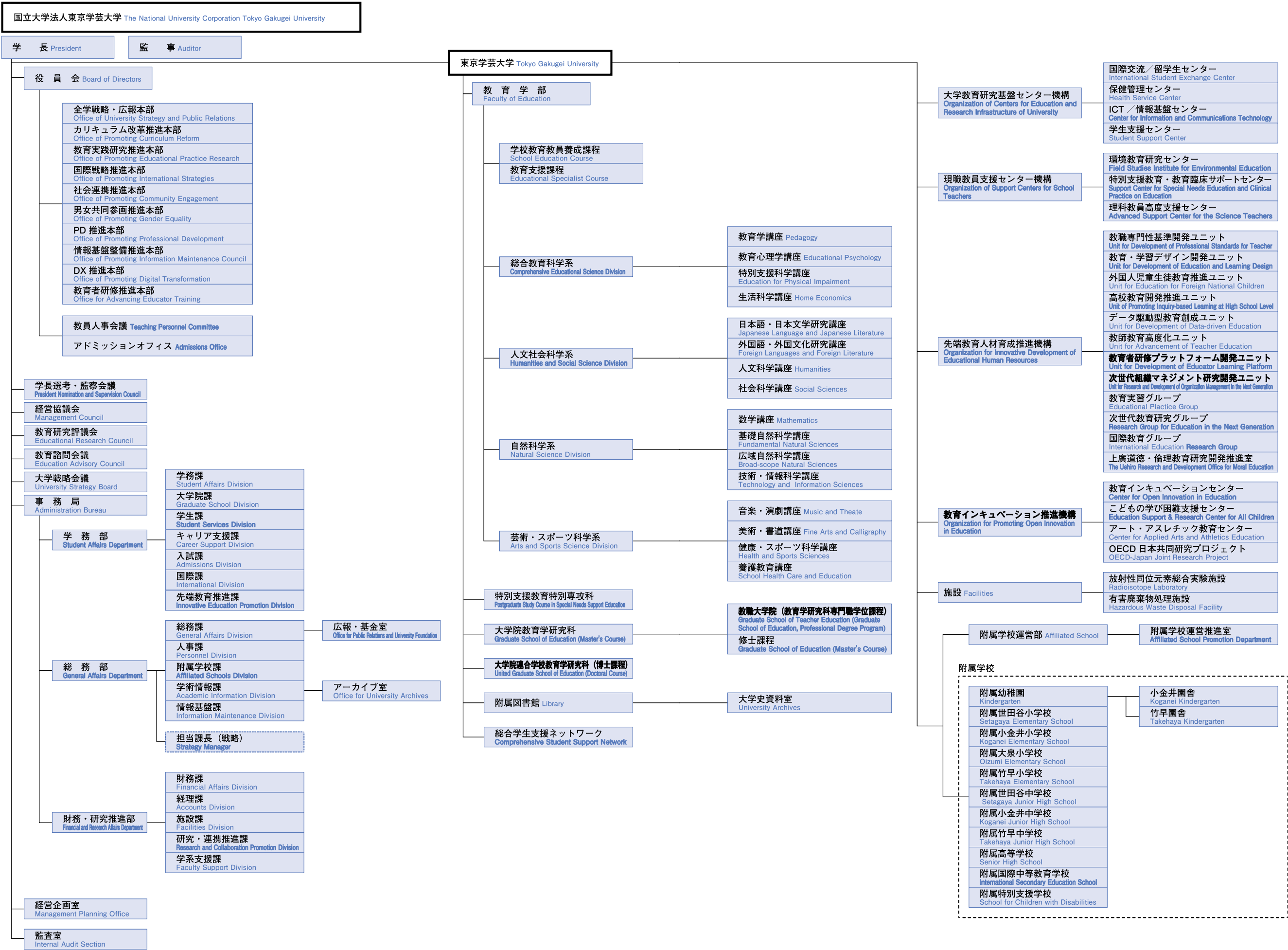
本学では、環境への配慮を教育・研究・社会貢献の根幹に据え、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。2025年の、この本報告書では、施設整備時の省エネルギー機器の導入、環境教育の充実、地域との協働による自然環境保全など、私たちの取り組みの成果と課題を率直に示しました。

環境への配慮は、持続可能な社会をつくっていくためには必要不可欠な要素であり、未来を担う子どもたちを育む教育者にとって、いまや不可欠な資質です。「有為の教育者の養成」を使命とする本学は、自らの使命を果たす中で、環境と共生する社会の構築に力を尽くしていきたいと思えます。



国立大学法人 東京学芸大学 学長

國 分 充



小



学務部

Student Affairs Department

- C2** 学務課 (中央2号館 1F)
Student Affairs Division
- C2** 学生課・キャリア支援課 (中央2号館 2F)
Student Service Division, Career Support Division
- C2** 国際課 (中央2号館 3F)
International Division
- 209** 大学院課 (第2むさしのホール 3F)
Graduate School Division
- E7** 大学院課 (教職大学院) (東7号館)
Graduate School Division (Graduate School of Teacher Education)
- 205** 図書館 (大学院アクティブラーニングセンター)
Graduate School Active Learning Center

センター

Centers

- W2** 先端教育人材育成推進機構 上廣道德・倫理教育研究開発推進室
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources The Uehiro Research and Development office for Moral Education
- W2** 先端教育人材育成推進機構 次世代教育研究グループ (西2号館)
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources Group for Research of Next-Generation Education
- E6** 先端教育人材育成推進機構 教育実習グループ (東6号館)
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources Group for Teaching Practice
- C4** 国際交流・留学生センター (中央4号館)
International Student Exchange Center
- C5** ICT／情報基盤センター (中央5号館)
Center for Information and Communications Technology
- C6** 学生相談室 (中央6号館)
Student Counseling Office
- C6** 障がい学生支援室 (中央6号館)
Office for Students with Disabilities
- W7** 環境教育研究センター (西7号館)
Field Studies Institute for Environmental Education
- E6** 先端教育人材育成推進機構 国際教育グループ (東6号館)
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources International Education Research Group
- E5** 特別支援教育・教育臨床サポートセンター (東5号館)
Support Center for Special Needs Education and Clinical Practice on Education
- C1** 理科教員高度支援センター (中央1号館)
Advanced Support Center for the Science Teachers
- 204** 教育インキュベーションセンター (本部棟)
Center for Open Innovation in Education
- C9** こどもの学び困難支援センター (中央9号館)
Education Support & Research Center for All Children
- W4** **W5** 先端教育人材育成推進機構 (西4号館) (西5号館)
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources

西地区 West Block (あざみいろ)

- W1** 西1号館
West Building 1
- W2** 西2号館
West Building 2
- W3** 西3号館 (西講義棟)
West Building 3
- W4** 西4号館 (西講義棟)
West Building 4
- W4** 西4号館 (西講義棟 110)
West Building 4 (110)
- W5** 西5号館
West Building 5
- W6** 西6号館
West Building 6
- W7** 西7号館
West Building 7
- 101** 小金井クラブ
Koganei Club
- 102** 芸術館 (学芸の森ホール)
Arts Hall (Sakuginomori Hall)
- 103** 音楽ホール
Music Hall
- 104** 放射性同位元素総合実験施設
Radioisotope Laboratory
- 105** 実習室1
Practical Training Room 1
- 106** 実習室2
Practical Training Room 2
- 107** 実習室3
Practical Training Room 3
- 108** 共通利用2号館
Common Use Building 2
- 109** 温室
Greenhouse
- 111** 農園
Farm

中地区 Central Block (ぐんじょういろ)

- C1** 中央1号館
Central Building 1
- C2** 中央2号館 (南講義棟)
Central Building 2
- C3** 中央3号館 (中央講義棟)
Central Building 3
- C4** 中央4号館 (北講義棟)
Central Building 4
- C5** 中央5号館
Central Building 5
- C6** 中央6号館
Central Building 6
- C7** 中央7号館
Central Building 7
- C8** 中央8号館
Central Building 8
- C9** 中央9号館
Central Building 9
- 201** 弓道場
Archery Hall
- 202** 20周年記念飯島同窓会館
Iijima 20th Anniversary Alumni Hall
- 203** 正門守衛所
Main Gate Guard House
- 204** 本部棟
Headquarters Building
- 205** 図書館
Library
- 206** 総合メディア教育館
Comprehensive Media Education Hall
- 207** 保健管理センター
Health Service Center
- 208** 第1むさしのホール
1st Musashino Hall
- 209** 第2むさしのホール
2nd Musashino Hall
- 210** サークル棟
Club Building
- 211** 北門テニスコート
North-Gate Tennis Court
- 212** 北門守衛所
North Gate Guard House

東地区 East Block (あかかんいろ)

- E1** 東1号館
East Building 1
- E2** 東2号館
East Building 2
- E3** 東3号館
East Building 3
- E4** 東4号館
East Building 4
- E5** 東5号館
East Building 5
- E6** 東6号館
East Building 6
- E7** 東7号館
East Building 7
- E8** 東8号館
East Building 8
- 301** 総合グラウンド
Athletic Field
- 302** 合宿所
Training Camp
- 303** 卓球場
Table Tennis Hall
- 304** 野球場
Baseball Ground
- 305** 体育館
Gymnasium
- 306** 屋外バスケットボールコート
Outdoor Basketball Court
- 307** 剣道場
Kendo Hall
- 308** 舞踊場
Dancing Hall
- 309** 柔道場
Judo Hall
- 310** 若草研究室
Wakakusa Laboratory
- 311** プール
Swimming Pool
- 312** ハンドボールコート
Handball Court
- 313** プレイパーク
Play Park
- 314** 東門バレーボール・テニスコート
East-Gate Volleyball / Tennis Court
- 315** 学芸の森保育園・こどもモードハウス
Sakuginomori Nursery / Kodomode House
- 316** 附属幼稚園小金井園舎
Affiliated Koganei Kindergarten
- 317** 附属小金井中学校
Affiliated Koganei Junior High School
- 318** 附属小金井小学校
Affiliated Koganei Elementary School
- 319** 国際交流会館
International House
- 320** コミュニティセンター
Community Center
- 321** 東門守衛所
East Gate Guard House

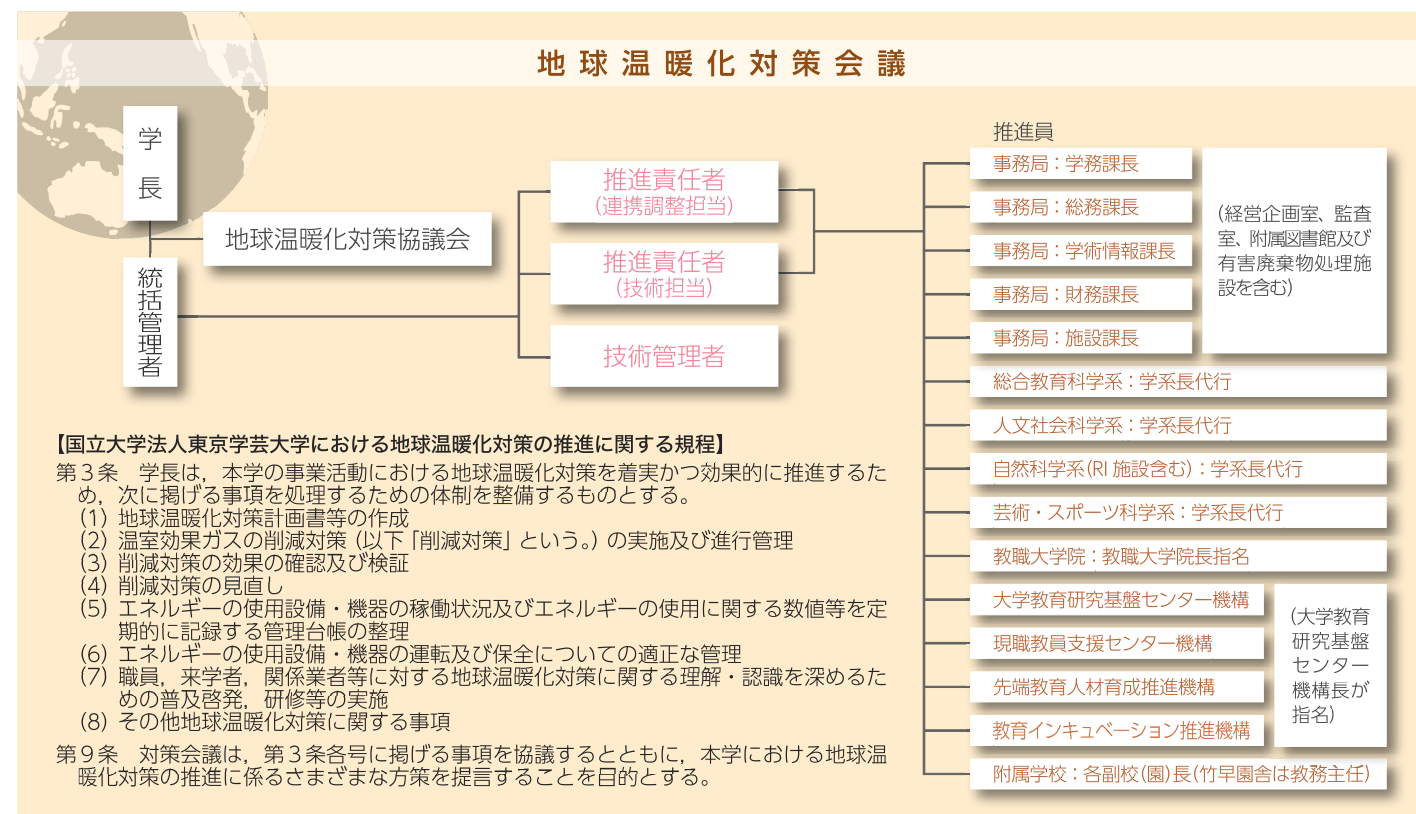
地

地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

国立大学法人東京学芸大学 地球温暖化対策計画書 (令和2年度～令和7年度) より抜粋

- I) 地球温暖化対策について「有為の教育者」を養成する大学として、学生及び教職員が一体となり、「省エネ・節電」への高い意識を持って、積極的に取り組む。
- II) 「省エネ・節電」を意識するあまり、学生・教職員の健康や安全管理上、不適切なものとならないようにする。

環境マネジメント組織体制



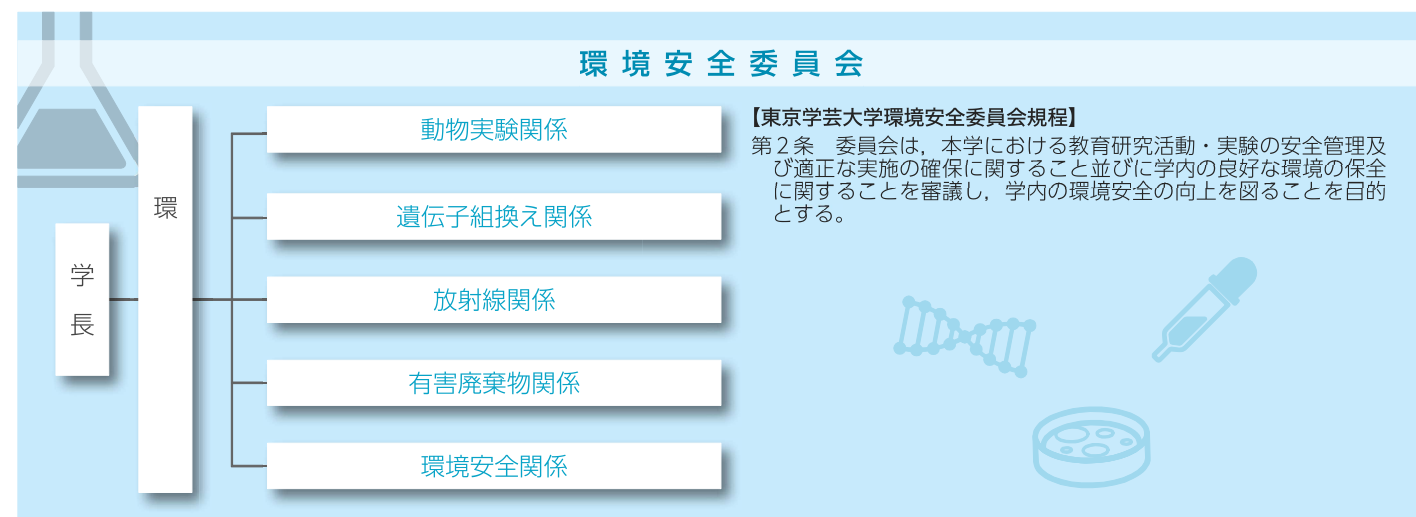
【国立大学法人東京学芸大学における地球温暖化対策の推進に関する規程】

第3条 学長は、本学の事業活動における地球温暖化対策を着実かつ効果的に推進するため、次に掲げる事項を処理するための体制を整備するものとする。

- (1) 地球温暖化対策計画書等の作成
- (2) 温室効果ガスの削減対策 (以下「削減対策」という。) の実施及び進捗管理
- (3) 削減対策の効果の確認及び検証
- (4) 削減対策の見直し
- (5) エネルギーの使用設備・機器の稼働状況及びエネルギーの使用に関する数値等を定期的に記録する管理台帳の整理
- (6) エネルギーの使用設備・機器の運転及び保全についての適正な管理
- (7) 職員、来学者、関係業者等に対する地球温暖化対策に関する理解・認識を深めるための普及啓発、研修等の実施
- (8) その他地球温暖化対策に関する事項

第9条 対策会議は、第3条各号に掲げる事項を協議するとともに、本学における地球温暖化対策の推進に係るさまざまな方策を提言することを目的とする。

環境安全委員会



【東京学芸大学環境安全委員会規程】

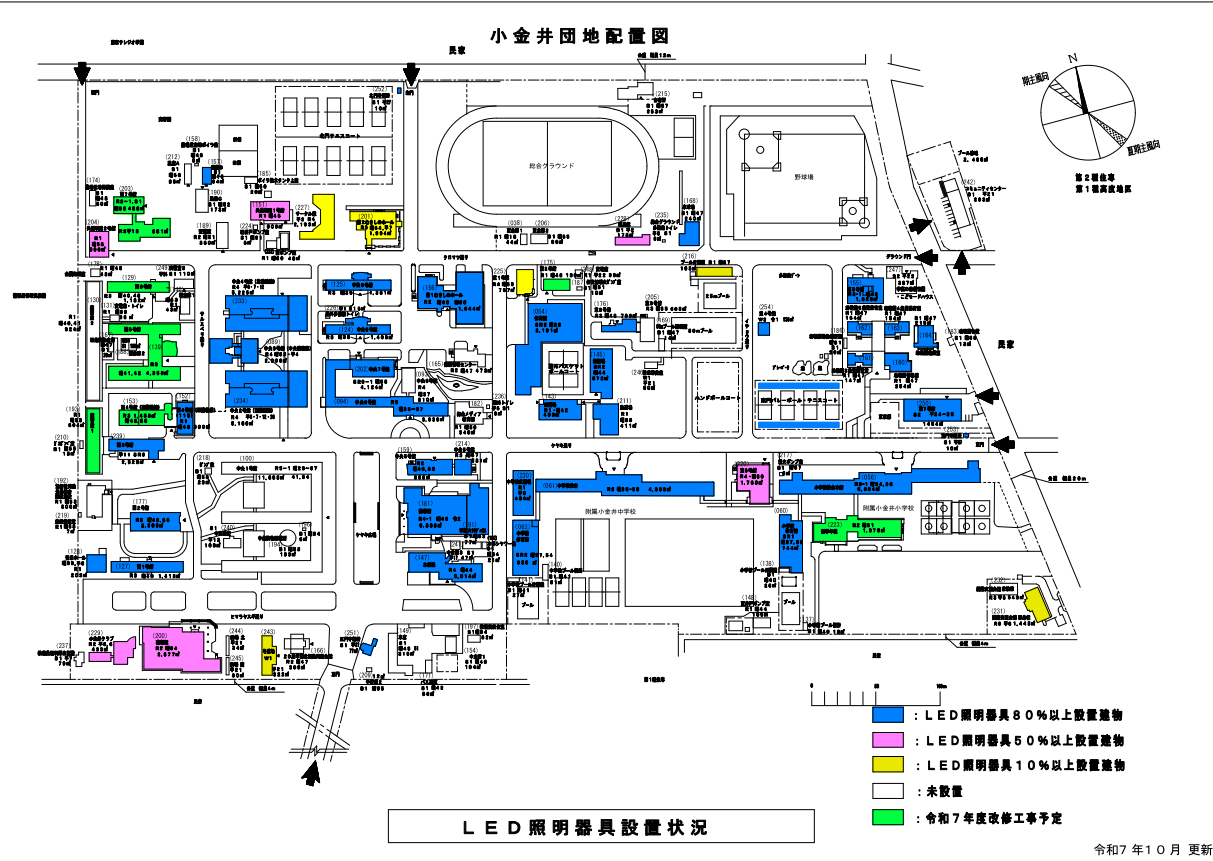
第2条 委員会は、本学における教育研究活動・実験の安全管理及び適正な実施の確保に関すること並びに学内の良好な環境の保全に関することを審議し、学内の環境安全の向上を図ることを目的とする。

LED化 推進しています

物価高騰の流れが強い昨今ですが、燃料価格についても依然として高騰が続いている状況となっています。この対策として本学では前年度に引続き光熱水料の削減を目標に定め、LED化を進めております。

本学の事業活動に伴う消費エネルギーは空調機と照明器具が大きく占めています。
空調機器については従来の重油ボイラーを廃止し、ガスエンジンヒートポンプ空調機 (GHP) や電気式ヒートポンプ空調機 (EHP) の整備を進めております。
照明機器については2009年から蛍光灯器具をLED照明器具に順次交換を進めております。2024年度当初で全約16,500台中約6400台のLED化が達成されており、進捗率としては39%という状況となっております。

そこで本年度は昨年度よりもLED化の規模を拡大する為、2024年9月から12月に計9箇所の建物を対象に蛍光灯 約1,600台をLED照明器具に交換しました。これによりLED照明器具は48%となりました。
交換実施建物について、本学の西6号館を例に電力消費はどうなったかというと、電気盤での電流値を実測したところ交換前が125.71A、交換後が72.64Aとなり、消費電力としては約42%減で想定以上の成果となりました。



電灯回路絶縁測定及び電流値測定報告書

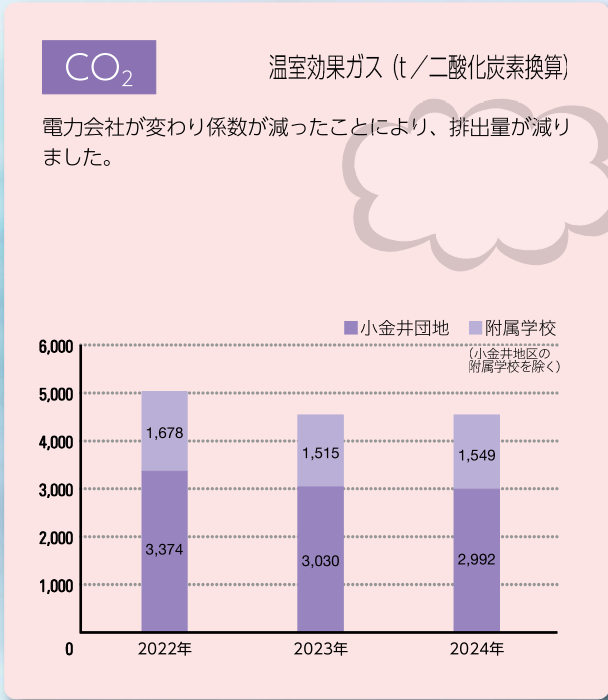
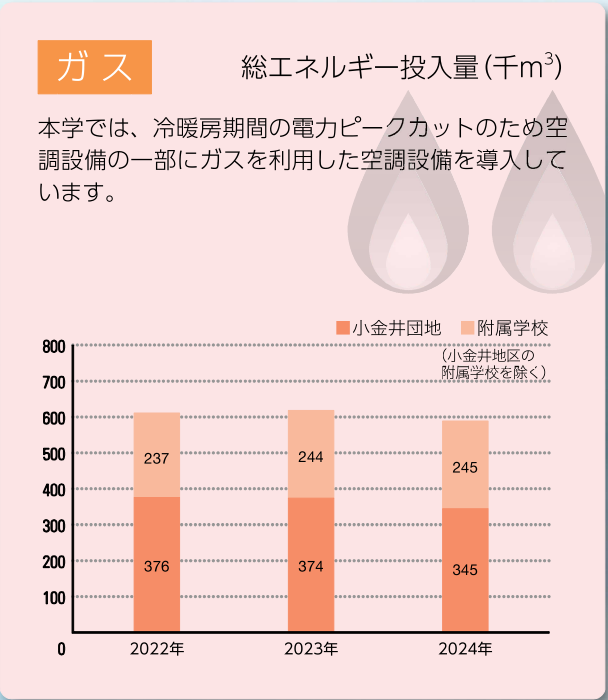
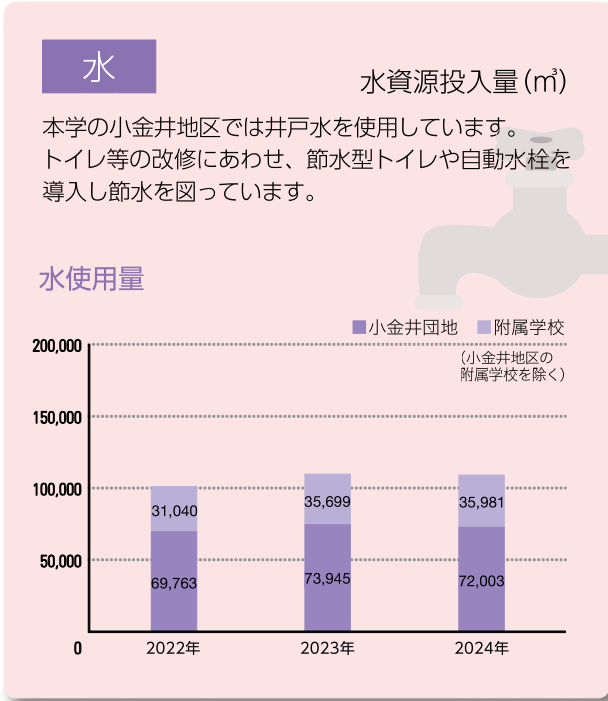
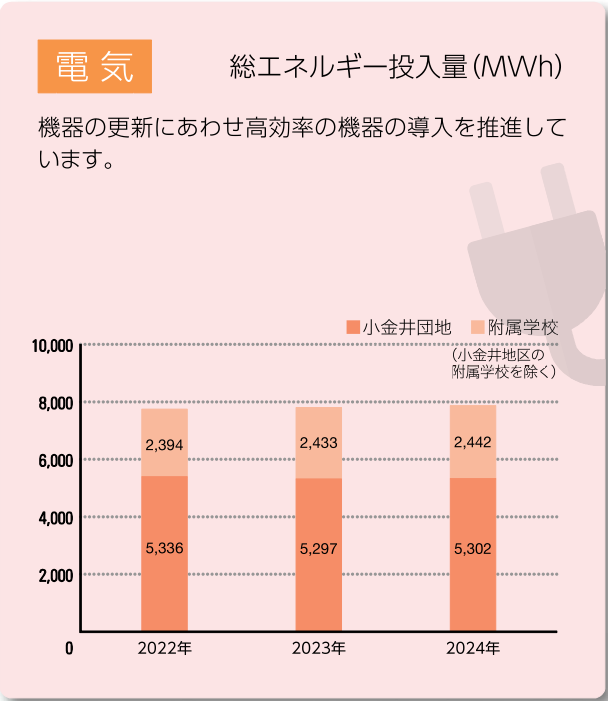
測定日	盤名称	回路名称	電圧 (V)	電流値 (A)		絶縁値 (MΩ)		備考
				施工前	施工後	施工前	施工後	
2025/2/4	3-L-3	研究室	200V	8.04	5.46	100	100	
2025/2/4	2-L-3	301～307	200V	7.84	4.00	100	100	
2025/2/4	2-L-3	308～307	200V	7.76	4.81	100	100	
2025/2/4	3-L-1	幼児研究室	200V	5.96	3.52	100	100	
2025/2/5	3-L-1	外国語教室	200V	6.51	3.53	100	100	
2025/2/5	3-L-1	研究室	200V	4.64	2.62	100	100	
2025/2/5	3-L-1	研究室	200V	4.92	2.59	100	100	
2025/2/5	3-L-1	研究室	200V	2.42	1.29	100	100	
2025/2/5	3-L-1	幼児教室	200V	7.30	4.06	100	100	
2025/2/5	3-L-2	研究室	200V	7.78	5.65	100	100	
2025/2/6	2-L-2	研究室	200V	7.75	4.71	100	100	
2025/2/6	2-L-2	研究室	200V	8.06	4.73	100	100	
2025/2/6	2-L-1	地学実習室	200V	5.26	2.62	100	100	
2025/2/6	2-L-1	社会学自習室	200V	7.92	4.00	100	100	
2025/2/6	2-L-1	研究室	200V	5.17	2.59	100	100	
2025/2/12	2-L-1	研究室	200V	8.50	4.62	100	100	
2025/2/12	2-L-1	研究室	200V	8.42	4.63	100	100	
2025/2/12	2-L-1	階段	100V	1.90	1.75	100	100	
2025/2/13	1-L-1	プレイルーム	200V	6.10	3.75	100	100	
2025/2/13	1-L-1	トイレ	100V	3.46	1.71	100	100	
合計				125.71	72.64			

絶縁抵抗値判定基準：対地電圧150V以下 0.1MΩ以上、対地電圧150V以上300V以下 0.2MΩ以上
∞は100で記載する

事業活動に係わるエネルギー・資源の全体量

電気・ガス・水道などの地球環境に影響する使用量および支出額のデータを比較表にして、学内へ定期的に通知し、その増減状況の共通理解を得ることにより、省エネの意識向上を図っています。

以下に環境パフォーマンスの取り組みデータを示します。



INPUT

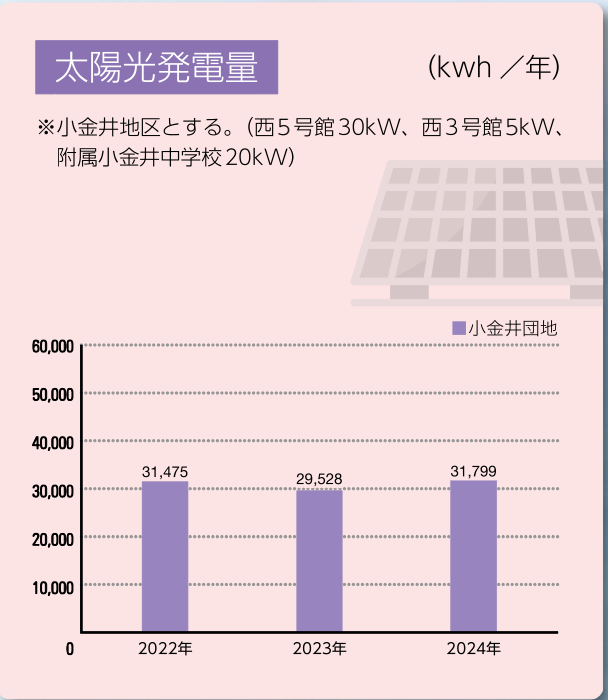
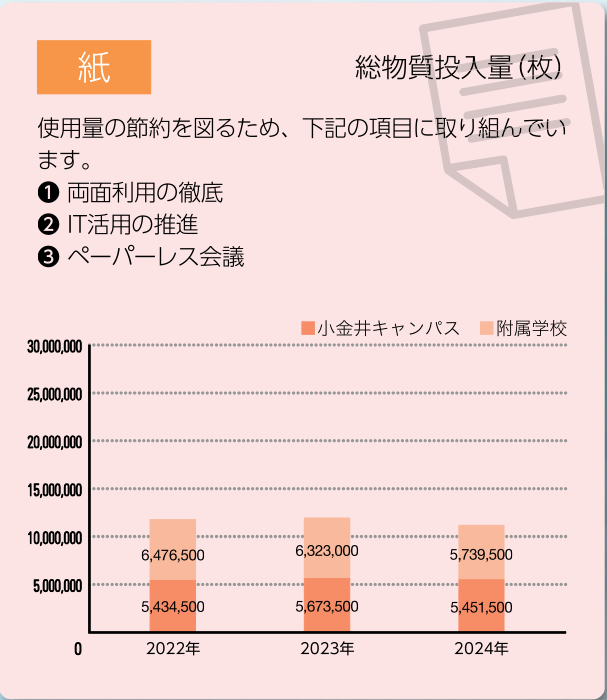
電 気	7,743,112kWh
ガ ス	589,483m³
水	107,984m³
紙などの資源	11,191,000 枚

OUTPUT

温室ガス (CO ₂ 換算)	4,542t
一般廃棄	442,326kg
排 水	107,984m³

環境保全効果

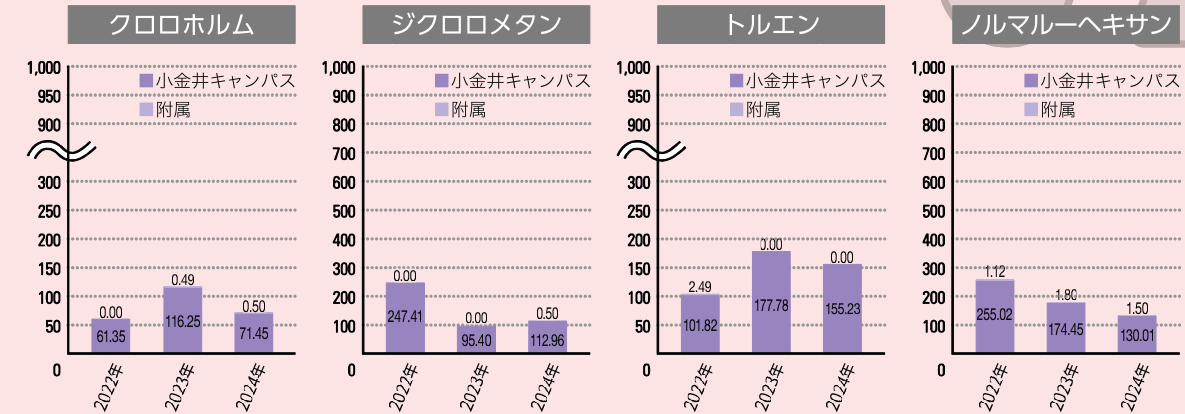
環 境 パ フ ォ ー マ ン ス 指 数	2023 年度	2024 年度	前年比
エネルギー使用量 (GJ)	102,469	101,339	0.98
水資源使用料 (m³)	109,644	107,984	0.98
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	4,545	4,542	0.99



化学物質

化学物質排出量・移動量 (kg)

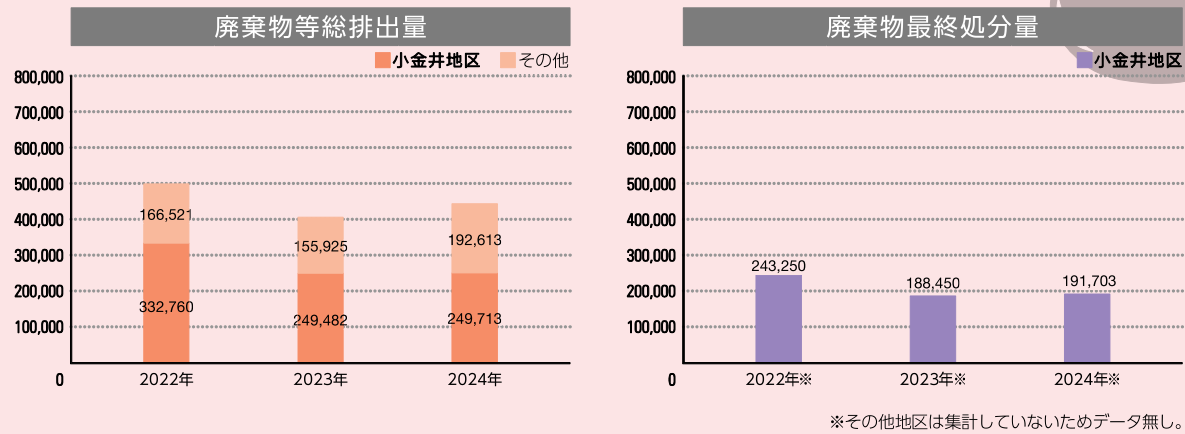
「東京学芸大学毒物および劇物取扱規定」に従い、教育・研究で使われる化学物質は適正な管理・使用を行っています。PRTR法の報告対象となる使用量に達するものではありませんが、年間使用量の多い上位4つの化学物質についての数値を記載します。



廃棄物

廃棄物等総排出量・廃棄物最終処分量 (kg)

ゴミの分別、ペーパーレス化の推進および返納物品活用バンクなど、取り組んでおります。



2020年からの活動制限で減少していた、廃棄物等総排出量、最終処分量が、2022年より活動緩和のため以前の状況に戻りました。

再生利用品目

(小金井地区 2024年度)

単位 : kg

紙類	53,560
ペットボトル	0
缶・金属・スプレー缶	4,450
パソコン	0



環境配慮促進法（記載事項等に関する告示）準拠状況

番号	記載必須項目	掲載ページ
1	事業活動に係る環境配慮の方針等	01
2	主要な事業内容、対象となる事業年度等	01・03-06
3	事業活動に係る環境配慮の計画	02
4	事業活動に係る環境配慮の取組の体制等	07
5	事業活動に係る環境配慮の取組の状況等	08-12
6	製品等に係る環境配慮の情報	—
7	その他	—

お問い合わせ

財務・研究推進部 施設課

TEL 042-329-7163
FAX 042-329-7168
MAIL kenchiku@u-gakugei.ac.jp

本報告書に関するご意見、ご感想、ご助言などをお待ちしております。これまで発行した環境報告書は東京学芸大学のウェブサイトからご覧いただけます。

www.u-gakugei.ac.jp/jouhou/01/

東京学芸大学 環境報告書 2025

編集・印刷：有限会社サンプロセス